

「GIGAスクール」「ICT教育」は子どもたちをどこに連れて行こうとしているのか

昨年度小中学校には1人1台のタブレット端末が配布されました。「早く使わせてほしい」などの期待の声がある一方で、「一度に全員が使ったら通信できなくなった」などの課題も明らかになっています。府立高校生全員に保護者負担でタブレット端末を買わせる計画には批判の声が出ています。



そんな中、「『令和の日本型学校教育』の構築をめざして」という答申が中央教育審議会から出されました。「個別最適な学び」「協働的な学び」が打ち出されていますが、これらはコロナ禍で不安やストレスを募らせている子どもたちにとって本当に学びがいのあるものになるのでしょうか。

「教育改革」や「キャリア教育」などについて研究や発信を続けておられる、児美川孝一郎さん（法政大学教授）のお話を聞き、「令和の日本型学校教育」「GIGAスクール」のねらいや、これからの時代に私たちがめざすべき教育のあり方について学習し、議論しましょう。多数のご参加をお待ちしております。（感染防止のため入場時のマスク着用や手指消毒にご協力ください。）

日時： 2021年 7月23日(金・休)1:30～4:30

場所： 職員会館「かもがわ」2階大会議室

講演： 「『令和の日本型学校教育』

『GIGAスクール』は何をめざしているのか」

講師： 児美川 孝一郎 さん（法政大学教授）

報告・交流：「GIGAスクールアンケートに寄せられた声」（新日本婦人の会から）
保護者・市民・教職員などから



資料代：500円
(学生無料)

主催：京都教科書問題連絡会・京都教育センター・京都退職教職員の会・
新日本婦人の会京都府本部・京都教職員組合
(連絡先：京都教職員組合 075-752-0011)

* オンライン参加をご希望の方は、kyobun@kyokyoso.jp 宛に電子メールで、お名前・所属などを書いて、7月21日(水)までにお申し込みください。資料代500円は当日までに送金してください。